

大阪市立大学（医・医）、大阪医科大学（医・医）他 合格

M・N さん （南山女子高）

KGSには昨年の春からお世話になりました。その前は大手予備校に1年間通っていましたが、KGSは大手に比べると規模は小さいですが、それが私には合っていました。私の経験からみてKGSの魅力は大きく分けて3点あります。

- ① 非常に熱心に話を聞いたりアドバイスをしたりしてくださる先生がおられること。

私は最初から志望校が決まっていたので、毎日どうしたら大阪市立に行けるのかと考えていました。自分だけで考えてもやっぱりわからないのでやるのがわからなくなったときは積極的に聞きに行っていました。さらに模試の結果なども必ずみていただきたくさん先生と話し合いました。

- ② 想像を超えた自習室の充実があること。

一人ずつの机が大きいです。自分の机で自分のタイミングで食事がとれるのは初めは戸惑いましたが慣れると非常に良いシステムであるとわかるはずです。さらに、朝早くから夜遅くまで開放されていることは他塾にはあまりない点だと思います。

私の場合、最初は9:00~22:00で始め、徐々に長くして最終的には7:30~23:00で使用していました。

それくらいやらないとやるべきことは終わらなかったですし、勉強していないと不安でした。

- ③ 勉強について相談したり質問しあったりする仲間がいること。

周りには毎日同じ空間で勉強する仲間がいて、モチベーションがあがり、また、苦手な分野について得意な友人に聞くことができ互いに高めあうことができました。

さらに私にとってありがたかったのはつらいときに葛原先生が何回も助けて下さったことです。2浪目だったので今年こそ決めないといけないと思っていたので勉強と関係のないことのほとんどと距離をおきました。SNSはもちろん削除しましたし、友人との連絡も絶っていました。だから、時々さみしくなっ
てつらくなることがあったのですが、そんな時必ず葛原先生が声をかけて下さったからこそ最後まで走り抜けることができたのだと思います。

初めのうちは自分が2浪することを受け入れられず泣きながら勉強していましたが、毎日自分が満足できるくらい勉強し続けたら第一志望校に合格することができました。

葛原先生とKGSの先生方には本当に本当に心の底から感謝しています。葛原先生がおられなければ合格はあり得ませんでした。

ありがとうございました。

香川大学（医・医）合格

Y・H君（千種高）

私は現役時、一旦文系学部に進学した後医学部再受験を決意しました。1年目は自分なりに努力したつもりだったのですが学力が届かず合格することはできませんでした。そして昨年の4月KGSに入塾してまず驚いたのは他の塾生の勉強時間の長さでした。勉強は量より質とよく言われますが、私は質をどうこう言う以前に量が全く足りなかった、努力が不足していたと痛感しました。

KGSの塾生は皆しっかりと勉強時間を確保しています。私も彼らにひっぱられるようにして勉強時間が増えていきました。それに伴い学力もついてきたのですが一つ心配なことがありました。それは入試での面接点についてです。再受験生や多浪生は特に気になる点だと思います。私は「再受験寛容度」などをネットで調べまわって時間を浪費していましたが、そんなときに葛原先生に受験校の選択や面接点について相談したところ「学科試験で有無を言わせない点数をとれば全く気にする必要はない」という答えがかえってきました。今はその通りだと思っています。ネットに上がっている情報は根拠のないものや信頼出来ないものも多いので、そんなことをあれこれ考えるより学力をあげることに集中するべきです。

このように、勉強以外のことも気軽に相談でき、親身に対応していただける点もKGSの良い点のひとつだと思います。

再受験を決めたときにKGSに出会えていればと今は強く思います。

先生方、一年間本当にありがとうございました。

山口大学（医・医）合格

N・K 君（菊里高）

駿台に二年間在籍していた僕にとって、正直、三年目の KGS での日々が辛くて辛くて仕方ありませんでした。駿台とは違い、毎日朝早く来ないといけないし、夜遅くまで残らないといけないピリついた雰囲気は塾全体にありました。

一日も休めないし、寝坊も、だらけて早く帰ることも出来ませんでした。駿台にいるときは、友達とご飯に行ったり、名駅を散歩して気分転換という名のサボりをしてましたが、KGS の周りには何も楽しめそうなスポットがありませんでした。もー！本当に、辛いことしか思い出せません！！
まさに勉強漬けの日々でした。

そんな辛い感情とは裏腹に、僕は三年目に成績がかなり上がりました。これは、KGS の「学習環境」が僕みたいな自分に甘い人間をも勉強に向かわせたからでしょう。先に書いた、KGS 独特の熱心さは、それだけ大きなメリットだと思います。

そして、そういう雰囲気になるのは、塾長の葛原先生をはじめとする、超アツい講師のご指導のおかげです。

僕は度重なる浪人でお金がなくて、授業は数学しか受けられませんでした。そんな僕にでも、山路先生は物理の質問を分かりやすく教えて下さり、悩みを聴いて下さり、すごく心強かったです！！定性的な解法を伝えつつ、大切なところで、本質に立ち返って、微分積分まで掘り下げる先生と相性が合いました。本当にありがとうございました！

数学の授業について、大手よりも主体性を求められ、駿台では授業の予習サボりマンだった僕でも KGS の予習はサボれませんでした。何よりも、僕が受けた大学の数学の問題は 4 問中 4 問を三浪目に KGS で学び、4 問中 3 問を解答用紙で再現できました。アガリ症の僕でも戦えるように、授業で、それだけ実践的な良問に日々取り組んでいたのだと思います。

終始葛原先生は怖かったですが、信じてついていって本当によかったです。

入試本番の面接で、1・2年目と3年目で予備校を変えたのは何故かと聞かれたときに、「自習量を確保する必要があり、そのために予備校を変え、am8:00～pm22:00, 23:00まで自習に取り組みました」と答えた瞬間、それまでKGSが辛すぎて嫌いでしたが、そういう負の気持ちが一気に感謝の気持ちに変わりました。僕一人では絶対にこんなに勉強できなかつたと認めざるを得なかつたからです。

入塾するひとがもし読んでいるなら、一言だけ言わせてください。
「めっちゃ辛いし、楽しいことは一つもないけど、必死にKGSについていけたら最後には合格できます。辛い日々も終わって初めて実は恵まれていたと知ります。頑張れ！！」

愛知医科大学（医・医）、獨協医科大学（医・医）他合格

A・Nさん（南山女子高）

私が初めてKGSを訪れたのは入試を直前に控えた高3の1月でした。当時の私は受験を甘く見ており医学部合格には程遠く、現役での合格はほぼ諦めていました。結局センター試験の得点率は75%にも届かず、私立大学医学部も1次で不合格となり浪人することとなりました。

そこから、KGSで過ごした1年間はとても濃いものでした。思い通りにいかないことも多かったですし、塾に行きたくないと思ったことも何度もありました。しかし、そんなときは必ず葛原先生が相談に乗ってくださり助けて下さいました。

私は浪人するまで塾はどこでも同じだと考えていましたがこの1年間葛原先生に何度も何度も精神面で支えていただきその認識が変わりました。先生方と塾生との距離が近いことがKGSの良い点の一つだと思います。受験においては授業や学習環境も重要な要素であり、KGSはその点においても非常に恵まれていましたが何よりも精神面でのサポートを手厚く受けることができたのは自分にとって大きなプラスでした。

この1年間で勉強以外のことも含めて学んだ多くのことはこれからの私の糧となっていくと思います。

通い始めたころはひそかに監獄と呼んでいた場所が1年後には第2のホームになるとは思ってもいませんでした。

現役時代全敗だった私が、夢だった正規合格を複数の大学からいただくことができたのは間違いなくKGSのおかげです。

1年間本当にありがとうございました。

広島大学（医・医）合格

H・M君（西尾高）

僕は予備校を探す際に、「大手に通ったが成績が伸びず、個別や少人数制の予備校に通ったら成功した」という話をよく耳にしていたため、少人数制で面倒見の良い予備校を第一条件としました。そして出会ったのが葛原先生、そしてKGSであり、面談時の葛原先生の熱意に魅かれ入塾を決めました。

KGSは自学を重視する予備校なので、何よりもまず自分自身を知ることが必要です。僕は現役時代自分の計画性のなさを反省していたので先生にアドバイスをいただきながら計画を立て、進捗状況にあわせて随時調整していくという方針で進めることで方向を間違えずに着実に力をつけることができました。

また、最初のころは自分に合った勉強法がわかっていませんでしたが、試行錯誤を繰り返し先生方のご意見もうかがいながら毎日勉強する中で何とか確立することができました。なかでも特に数学に苦手意識をもっていたので葛原先生の指示を受けながらその克服に最も時間をかけました。そのおかげで得意とは言えないまでも入試において戦うことができるレベルにまで向上させることができたと思います。

KGSの授業はコマ数は抑えられているものの、自分では見落としがちなポイントを鋭く指摘されるとともに深く理解するための鍵となる知識をどんどん与えていただけなので非常に密度が高く充実したものでした。また、授業後、その日学んだ内容についてじっくり考え抜く時間を取ることが可能なので一つひとつ自分の知識としていくことができました。

センター試験の本番では思いがけない失敗を犯してしまい、挽回を目指した2次試験も決して会心の出来というわけではなかったのですが、合格者の一覧の中に自分の番を見つけたときは驚くとともに、受験に出かける前に葛原先生からかけていただいた「センターでのビハインドがあるとしても君は間違いなく合格する」という言葉が思い出されて改めて感謝の思いでいっぱいになりました。

「どんな場合も最後まであきらめず最後の1秒まで手を動かせ。」戦わないものに合格はあり得ない」という先生の教えを守って本当に良かったと実感しました。

葛原先生はじめ先生方1年間本当にお世話になりました。

ありがとうございました。

愛知医科大学（医・医）、獨協医科大学（医・医）合格

T・M君（半田高）

私は大学に通いながら大学受験を目指す、いわゆる仮面浪人という形でKGSに通い始めました。大学には前期は通い、後期は休学という形をとりましたが受験勉強に専念できた時間はKGSの他の塾生の3分の2くらいではないかと思えます。

しかし、KGSは学習のための環境が整っていることと授業の質が非常に高いため、この短い期間でも十分に成績をあげることができたのだと実感しています。

KGSの良いところは少人数制で、かつ授業中に頻繁に発問され指名されることだと思えます。現役時代、学校の授業で睡魔と戦っていた私にとって、KGSの緊張感のある授業は大変あっていたと思えます。質問された内容は忘れず覚えていることができるので指名して欲しそうな表情をして授業を受けるとよいかもしれません（笑）。

また、KGSは授業が選択制であることも非常に良い点だと思えます。私は大学に通っていたこともあり、特に前期は出席できる授業が限られていたので、現役生対象の授業にも出席していました。授業内で現役生が解けているのに自分が解けていない問題が出てきたりすると強い危機感を感じ、それが新たに自分の勉強のモチベーションになっていました。現役生の授業に出席することで1年間を通して危機感を感じながら勉強に取り組むことができたことが自分の中ではとても大きかったと思えます。1年間という長い期間の受験生生活の中でモチベーションを高く保ち続けることは合格するために不可欠なことだと実感しています。

浪人としての1年間は本当に大変でしたが先生方、そしてともに学んだ仲間たちに支えられ何とか合格することができました。

KGSには感謝しかありません。1年間ありがとうございました。